

事業番号	15 05 05	事業改善シート (25年度実施事業分)		<input type="checkbox"/> 予算要求	<input type="checkbox"/> 当初予算案	<input type="checkbox"/> 補正予算案	<input checked="" type="checkbox"/> 点検
事業名	学力向上推進事業費			部局	教育委員会事務局		
				課・室	教学指導課		
総合5か年計画	プロジェクト	8-3-1,3教育再生プロジェクト 1-3-5次世代産業創出プロジェクト 5-2-2雇用・社会参加促進プロジェクト 7-1-4活動人口増加プロジェクト			E-mail	kyogaku@pref.nagano.lg.jp	
	施策の総合的展開	7-1 子ども一人ひとりの個性や能力を伸ばす学校教育の充実 2 信州に根ざし世界に通じる人材の育成			実施期間	不明 ~	

1 事業の概要

目指す姿	<ul style="list-style-type: none"> 学習意欲を向上させることにより、自ら学び学習する生徒を育てる。 基礎学力を定着させ、学力の向上を図り、生徒一人ひとりの「生きる力」が育成されるようにする。 「長野県キャリア教育ガイドライン」に基づき、学校全体をキャリア教育の視点で見直すとともに、高校生の就業体験活動の推進と市町村プラットフォームの構築を推進する。 生徒自身が自己の特性や関心に応じた進路目標を持ち、社会情勢を適切に判断し、進路を選択できる能力を身につける。
現状	<ul style="list-style-type: none"> 生徒の中には、学ぶ目的の喪失や学習意欲の欠如、家庭学習時間の減少などを抱えている者がいる。 義務教育段階の基礎学力が不十分な生徒が少なくなく、学力不足を補う「学び直し」に取り組んでいる。 普通科における就業体験活動が不足している。地域、家庭の教育力を活用したキャリア教育を進めている。 経済状況の悪化に加え、大卒者の就職難も影響し、進学をあきらめる等、希望の進路が実現できないこともある。

県が関与する理由	県でなければ実施不可(その他)	【左記の説明、根拠法令等】
	県民との協働による実施: 検討中	

事業内容	① 成果目標(H25)						
	<ul style="list-style-type: none"> 基礎学力を定着させ、学力向上を図り、大学進学率38.8%を目指す。 進路について正しい選択ができるよう、積極的に就業体験に参加させ、高校卒業までに体験活動を実施した全日制3年生の生徒数の割合をH29年度100%に向け、H25年度60%とする。 乳幼児触れ合い体験実施校数をH29年度50校に向け、H25年度25校に増やす。 「就きたい仕事イメージできる」と答える高校1年生の割合を、H29年度70.0%に向け、H25年度64.0%を目標とする。 						
	② 事業内容 (単位:千円)						
		項目	実施方法	H25事業実績		H26	
				(当初)	(決算)	(当初)	
		理数系学力の伸長	直接	・学習合宿 ・信州サイエンスキャンプ、信州赤ひげ塾	2,192	1,923	2,069
		進路情報活用	直接	・進路指導書籍の整備 ・大学入試問題のデータベース、進路ネット情報の活用 ・進路指導関係会議	9,344	9,270	8,867
		進路対策講座	直接	・伸びる力養成講座(センター対策、記述対策) ・進学対策集中講座 ・トリニティ・プロジェクト(基礎学力の向上、家庭学習習慣の確立、保護者への啓発等)	7,797	7,077	7,280
		キャリア教育支援事業 プロジェクト1-3、5-2、7-1、8-3	直接	・長野県キャリア教育支援センター事業 ・学校・生徒支援事業 ・自立支援コーディネーターの配置	24,928	21,327	
		子育て理解教育 プロジェクト5-2、7-1、8-3	直接	・高校生の、幼稚園・保育所での幼児との触れ合い体験を拡充 ・高校生の乳児体験を拡充	280	238	
	SSH指定校支援事業	直接	SSH指定校(飯山北・屋代・諏訪清陵)に事業を円滑に実施するために事務員を配置し、指定校を支援する。	2,393	2,031	2,487	
	信州自然エネルギー・環境教育支援事業	直接		0		2,000	
			合計	46,934	41,866	22,703	

事業コスト	区分(単位:千円)						
	予算額	前年度繰越	0	0	0	0	0
		当初予算	31,893	43,681	46,934	22,703	
		補正予算	-1,448	0	-2,532	0	
		合計(A)	30,445	43,681	44,402	22,703	
	Aの財源	国庫支出金	1,855	3,033	0	0	
		県債	0	0	0	0	
		その他(諸収入等)	0	9,677	17,936	4,549	
		一般財源	28,590	30,971	26,466	18,154	
	決算	額(B)	28,654	36,916	41,866		
概算人件費	職員数(人)	2.00	2.00	2.00	2.00		
	概算人件費(C)	16,516	16,516	16,516	16,516		
概算事業費	B(A)+C)	45,170	53,432	58,382	39,219		

成果目標の達成状況					
項目	H24末(実績)	H25			H26
		目標	成果	達成状況	
大学進学率	36.7%	38.8%	36.9%	未達成	38.0%
県の学力実態調査(高2)における基礎学力定着度(正答率)	国64.1% 数61.3% 英60.8%	国63.7% 数59.1% 英58.4%	国65.5% 数61.6% 英60.9%	国達成 数達成 英達成	国64.3% 数61.5% 英61.0%
在学中の就業体験活動参加率(全日制高3)		60.0%	60.4%	達成	-
乳幼児触れ合い体験実施高校数		25校	25校	達成	-
「就きたい仕事イメージできる」高校1年生の割合		64.0%	64.6%	達成	-

目標に対する成果の状況	県内公立高校の四年制大学進学者は景気動向の不安定さや大卒者の就職状況等の影響もあり就職者が増加して目標達成に至らなかった。また、キャリア教育については、キャリア教育支援センターの活用、周知により目標が達成できた。
-------------	--

2 今後の事業の方向性

今後、事業をどのようにしていきたいか	<input type="checkbox"/> 事業を実施しない <input type="checkbox"/> 事業を見直して実施 <input checked="" type="checkbox"/> 事業を現行どおり実施 <ul style="list-style-type: none"> 成績上位層の難関大学への進学を実現する指導をするため、生徒への学習指導及び教員の指導力向上を目指す必要がある。そのための先進校視察や外部講師招聘等が必要である。 高等学校普通科における就業体験を更に推進する必要がある。 なお、従来のキャリア教育関係事業、子育て理解教育は本事業に含めてきたが、近年、生徒・地域・社会の状況から学力向上策の枠に納まらない内容を含むものから平成26年度は「キャリア教育推進事業」として実施していく。
--------------------	--